

広島市乳幼児教育保育支援センターの取組について

1 「各区における幼保小接続に関する合同研修会」の開催

令和5年度から、各小学校区における円滑な接続を推進させることを目的に開催しており、2年間で全区を対象に実施した（令和5年度：中・安佐南・安芸区、令和6年度：東・南・西・安佐北・佐伯区）。

(1) 内容（令和5・6年度ともに、基本的に同じ内容で開催している。）

ア 講話

幼児期の遊びを通した学びに関する認識を共有するため、講師による国の動向、様々な研究や実践などについての講話を聞き、遊びを通した学びの意義や効果について共通認識を図った。

講師：中坪 史典 氏

- | | | |
|---|--|---|
| { | <ul style="list-style-type: none">・ 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授・ 広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設 施設長 | } |
|---|--|---|

イ 意見交流

同一の中学校区を中心とした近隣の幼児教育・保育施設と小学校がグループになり、講話に使用した動画や、各地域の実態、各園・校同士の交流の状況などについて意見交流をした。

(2) アンケートの結果

参加者へのアンケートの結果、次の内容を把握することができた。詳細は参考資料2のとおり。

- ・ 研修会について「幼保小接続の取組を進めていくために役立つ内容であったか。」「園・校相互の教育・保育について理解を深める機会になったか。」との質問に対し、肯定的な回答の割合がいずれも9割を超えている。
- ・ 「本研修会以外の幼保小接続に関する研修等について、開催又は参加をしたことがある。」との回答の割合が4割前後に留まっている。
- ・ 「接続を見通した教育課程や保育プログラムの実施後に反省・検証を踏まえ、PDCAサイクルを確立し、次年度以降の改善につなげている」との回答の割合が2割前後と低い。

(3) 令和7年度「各区における幼保小接続に関する合同研修会」について（予定）

令和7年度は、次のとおり、全区を対象として開催したいと考えている。

ア 対象者

広島市内の公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園等と小学校の幼保小接続担当者

イ 開催時期

7月末から8月末（小学校の夏休み期間中に開催する。）

ウ 開催方法

全8区を対象として開催（回数については今後調整し、複数の区を対象として開催することも検討する。）

エ 内容

講師による講話とグループワーク（講師及び詳細については今後調整）

2 幼保小接続に関する乳幼児教育保育アドバイザーの派遣

幼保小連携・接続をテーマとした乳幼児教育保育アドバイザーの派遣を行っている。具体的な支援の内容は参考資料3（広島市乳幼児教育保育支援センターだより 令和6年度第3号・第5号）のとおり。

【幼保小連携をテーマとした乳幼児教育保育アドバイザー派遣の実績】

(回)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (11月末現在)
幼保小連携	3	4	10	10
(全体)	234	304	385	259